

洪水・土砂災害 ハザードマップ

Sukagawa City Flood and Sediment
Disasters Hazard Map

災害への備え、 できていますか？



本書の使い方

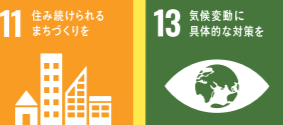
本書は、水防法および土砂災害防止法に基づき、いつ起きるかもしれない様々な災害に対し、事前に備えることを目的として作成しました。予測不可能な災害の被害を最小にとどめるため、日ごろから内容に目を通し、理解を深め、備えましょう。

洪水・土砂災害ハザードマップとは

洪水・土砂災害ハザードマップ(洪水・土砂災害避難地図)は、大雨などによって阿武隈川、釈迦堂川、川川が増水し、堤防の決壊や越水により浸水のおそれがある地域と、急な傾斜地などで土砂災害のおそれがある地域、そして各地区の避難所などを示した地図です。

ホームページでも公開中!

須賀川市 ハザードマップ 検索



発行：須賀川市総務部市民安全課 〒962-8601 須賀川市八幡町135番地
TEL.0248-75-1111 (代表) FAX.0248-73-4160

令和6年4月改訂

水害発生のおそれや形態

平常時

● 降った雨は排水路などを通して河川に流れています。

↓ 集中的な豪雨があると…

内水はん濫 (ないすいはんらん)

● 雨の量が排水路の排水能力を超えたり、排水先の河川の水位が上昇したりすることで、水が流れずたまってしまい、浸水します。

局地的な集中的な降雨(いわゆるゲリラ豪雨)があると、たとえ時間が短くても、内水はん濫が起こることがあります。内水はん濫は、河川の近くでない場所でも起こりますので、注意が必要です。

↓ さらに強い雨が降ったり、降雨が長時間連続したりすると…

外水はん濫 (がいすいはんらん)

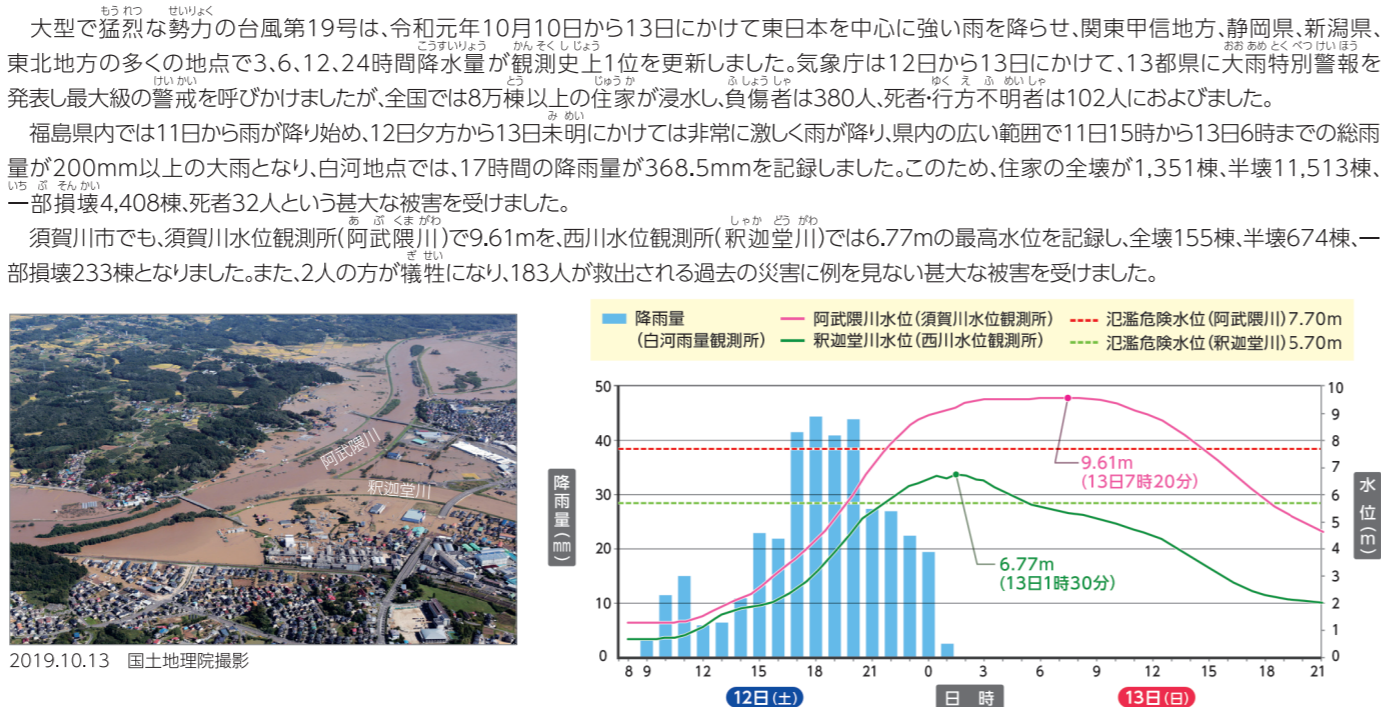
● 大雨によって河川の水位が上昇し、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊したりして浸水します。

外水はん濫は、一旦はん濫が起きるとあふれ出る水の勢いが強く、短時間のうちに広範囲に大きな被害が広がるやすいのが特徴です。

河川の水位上昇は、上流側で降った雨の影響も大きく受けますので、流域全体の降雨状況にも注意しましょう。

内水はん濫と外水はん濫は、同時に起こる場合があります。

過去の水害 令和元年台風第19号(東日本台風)



避難の呼びかけがあったら、速やかに避難しましょう

気象庁は、大雨や強風などの気象現象によって災害が起こるおそれのあるときに「注意報」を、また重大な災害が起こるおそれのあるときに「警報」を発表し、注意や警戒を呼び掛けます。土砂災害や洪水の危険性がある地区にお住まいの方は、これらの情報に注意して、自主的に避難をしましょう。「警戒レベル」の状況では災害が発生して避難できなくなる可能性があることから、「警戒レベル3」や「警戒レベル4」の段階で避難することが重要です。特に、避難行動に支援を必要とされる方は、早めに避難を開始しましょう。

警戒レベル	住民がとるべき行動	市町村の情報	警戒レベルに相当する気象庁等の情報 ^{※3}		
		警報等	キロワット(危険度分布)	指定河川洪水予報	
5	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保 ※必ず命を失われる 情報ではない	大雨 特別情報	災害切迫	氾濫 発生情報
警戒レベル4までに必ず避難!					
4	危険な場所から 全員避難	避難指示	土砂災害 警戒情報	危険	氾濫 危険情報
3	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報	警戒 (警報級)	氾濫 警戒情報
2	ハザードマップなどで 避難行動を確認		大雨注意報 ^{※2} 浸水注意情報	注意 (注意情報級)	氾濫 注意情報
1	災害への心構えを 高める		早期注意情報 (警報級の可能性)		

詳細はこちら <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/boasai/alertlevel.html>

※1 災害が想定されている区域(土砂災害警戒区域や浸水想定区域)などを日ごろから確認し、避難の判断にご活用ください。
※2 夜間～夜明け前(大雨警報(土砂災害))に切り替わる可能性が高い注意報は、高齢者等避難(警戒レベル3)に相当します。
※3 気象庁などの特別警報・警報・注意報は概ね市町村ごとに、千キロワット(危険度分布)は概ね1km四方の領域ごとに、指定河川洪水予報(氾濫発生情報)は概ね1km四方の領域ごとに、指定河川洪水予報(氾濫発生情報)は河川ごとに発表されます。 出典:気象庁ホームページ

防災情報の入手先

- 気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp>
- 福島県庁国道事務所 <https://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>
- 福島県河川流域総合情報システム <https://kasseninf.pref.fukushima.jp/>
- 福島県土砂災害情報システム(土砂アラート) <https://d-keikai.pref.fukushima.lg.jp/>
- 須賀川市土砂災害情報システム <https://www.sukagawa119.jp/>
- 須賀川市土砂災害情報システム <https://www.sukagawa119.jp/>
- 地域コミュニティFM「FMFM」 <https://ultrafm868.jp/>

土砂災害

土石流 土砂が押し流される

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるもの。

土石流の前兆

- 山鳴りがする。
- 川の中でゴロゴロという音がしたり火花が見えたりする。
- 川の水が濁り、水と一緒に倒れた木が流れてくる。
- 山全体がうなるような音がしたり、地震のようなふるえたり、異常においがする。
- 雨は降り続けているのに、川の水が減る。

ハザードマップの表示

特別警戒区域
警戒区域

がけ崩れ 斜面が崩れ落ちる

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちること。

がけ崩れの前兆

- がけにひび割れができる。
- がけから急に水がきき出る。
- がけから小石がぼらぼらと落ちてくる。
- がけの上の木がゆれたり傾いたりする。
- 地鳴りがする。
- わき水の量が急に増えたり、止まったり、吹き出したり、水が濁る。

ハザードマップの表示

特別警戒区域
警戒区域

地すべり 斜面が移動する

斜面が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のこと。

地すべり前兆

- 池の水が濁ったり、急に減ったりする。
- 風もないのに山の木がざわざわする。木が裂ける音や木の根が切れる音がする。地鳴りや山鳴りがする。
- わき水が増える。
- 地面にひび割れや段差ができる。
- 井戸水が濁る。

土砂災害特別警戒区域

土砂災害が発生したときに、建築物に損傷が生じ住民などの生命や身体に著しい危害が生じるおそれがある区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制などが行われます。

土砂災害警戒区域

土砂災害が発生したときに、住民などの生命や身体に危害が生じるおそれがある区域で、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

避難時の心得

避難を行うときにもいろいろな危険がひそんでいます。あわてず、速やかに、注意深く行動しましょう。

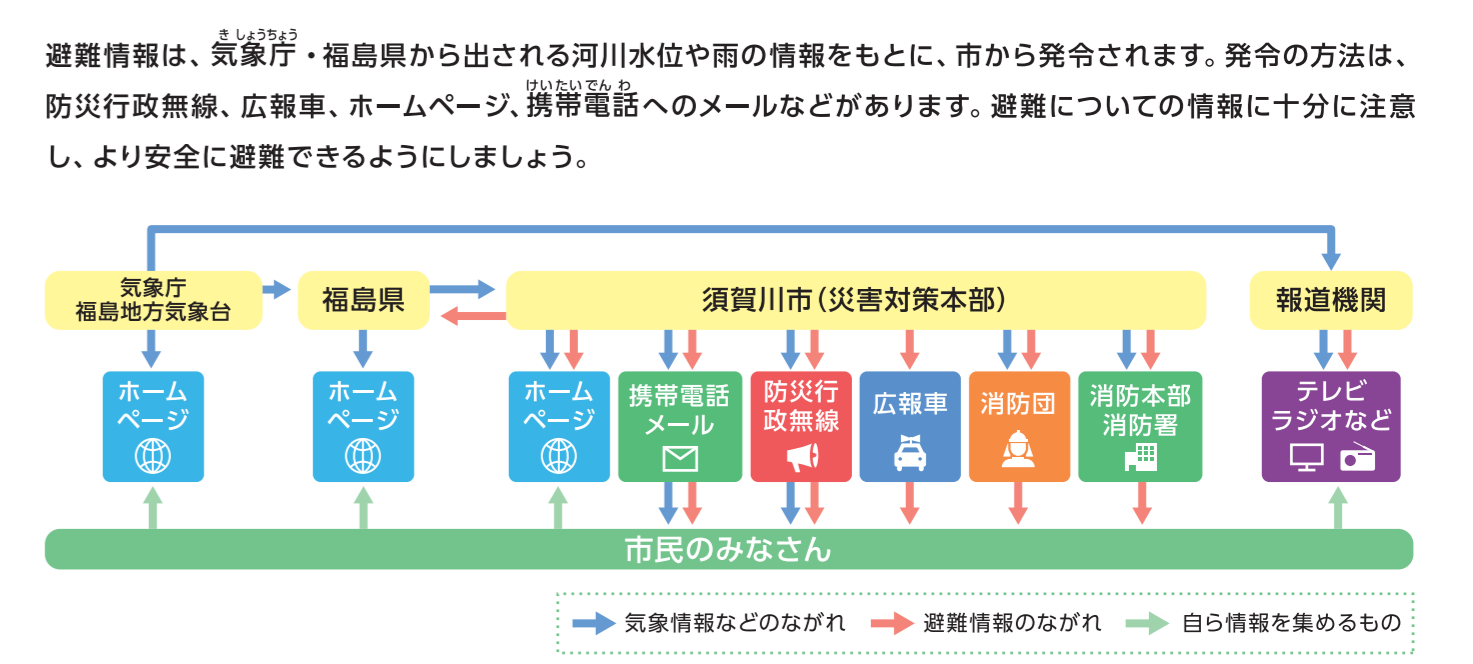
- 避難の呼びかけに注意しましょう**
 - 避難指示には、速やかにしたがいきましょう。
 - 台風などで夜に大雨が降ることが予想されるときは、明るいうちに安全な場所に避難しましょう。
 - 避難するときは、ガスを締め、ブレーカーを落としましょう。
- みんなで協力しあって避難しましょう**
 - となり近所と声をかけあって、みんなと一緒に避難しましょう。
 - 近くに高齢の方や支援を必要とされる方がいたら、助けあひましょう。
- 車での避難は控えましょう**
 - 避難のときは、車の使用を控えましょう。(渋滞に巻き込まれたり、道路の浸水で、車が止まってしまうりすることがあります)
 - やむを得ず車を使用するときは、避難路が浸水していないことなどを確認のうえ、早めに避難しましょう。
- がけから離れた高い場所に避難しましょう**
 - すでに浸水が始まっているなど、屋外へ避難するとかって危険な場合があります。逃げ遅れたときは、建物のできるだけ高い場所に避難しましょう。
 - 背後にがけがあるときは、がけからできるだけ離れた部屋に避難しましょう。
- 動きやすい服装で避難しましょう**
 - 服装は身軽で目立つものにしましょう。
 - 荷物は少なめに、リュックなどを使ってできるだけ両手をあけましょう。
 - スニーカーなど履きやすい靴で避難しましょう。長靴は、水が入り歩きにくく、転倒のおそれがあるため、履くのをやめましょう。

雨の強さと降り方

予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	返すように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある
人への影響	話し声が聞き取りにくくなる。跳ね返りを気にする。	傘をさしていてもぬれる。	傘は全く役に立たなくなる。		
屋外の様子	地面一面に水たまりができる。	道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり視界が悪くなる。		
車に乗っていて		ワイパーを速くしても見づらい。	高速走行時、ブレーキが効かなくなる。(ハイドローブレーニング現象)		車の運転は危険。
災害発生状況	この程度の雨でも長く続くときは注意が必要。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。	山崩れ、がけ崩れ、おきやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。土砂災害が起こりやすい。	雨による大規模な災害の発生するおそれがある。避難準備が必要。

気象庁ホームページをもとに作成

避難情報の流れ



わが家の防災メモ

集合場所			
親戚や知人の名前	電話番号	携帯電話	メモ

災害用伝言ダイヤル(171)電話サービス

伝言の録音方法

171 1 電話番号(市外局番から)

伝言の再生方法

171 2 電話番号(市外局番から)

防災関係機関一覧

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
須賀川市役所(災害対策本部)	0248-75-1111	休日夜間急病診療所	0248-76-2980
長沼市民サービスセンター	0248-67-2111	公立岩瀬病院	0248-75-3111
岩瀬市民サービスセンター	0248-65-2111	独立行政法人国立病院機構 福島病院	0248-75-2131
須賀川地方広域消防本部	0248-76-3111	かかりつけの病院()	-
須賀川消防署	0248-76-3197	東北電力ネットワーク(株)	0120-175-366
須賀川消防署長沼分署	0248-67-3303	固定電話から	113
火事の発生場所(テレビホンサービス)	0248-76-8181	携帯電話から	0120-444-113
須賀川警察署	0248-75-2121	須賀川市水道お客様センター	0248-63-7111

須賀川市の災害情報提供

● 防災行政無線音声ガイドサービス ☎ 0120-110-636

防災行政無線で放送された直近の内容を確認することができます。

- 須賀川市公式ホームページ <https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/>
- 防災ずかがわX(旧Twitter) https://twitter.com/bousai_sukagawa

避難をするときに注意すること

風水害からの避難は、避難所などへの「水平避難」か階上への「垂直避難」のいずれかが基本です。

水平避難

危険区域外への避難

避難経路の中にある危険に注意しましょう。

● 水の中を歩くときは、棒などで安全を確かめながら側溝やフタの外れたマンホールなどに注意して歩きましょう。

● できるだけ河川の近くや水路を避けて避難しましょう。

垂直避難

危険が切迫しているときは、指定された避難所への移動だけでなく、命を守る最善の行動をとりましょう。

- 避難経路の危険箇所がわかりにくい
- ひざ上(50cm以上)まで浸水している
- 水の流れが速い

このような状況で屋外へ避難するとかって危険であるため、建物のできるだけ高い場所に緊急避難し、救助を待つことも検討してください。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は?

ハザードマップ*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか? **いいえ**

災害の危険があるので、自宅の外に避難が必要です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかりますか? (高齢者や障がいをお持ちの方など) **いいえ**

身を寄せられる安全な場所に住んでいる親戚や知人はいますか? **いいえ**

身を寄せられる安全な場所に住んでいる親戚や知人はいますか? **いいえ**

必ず取り組みましょう

● ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されているところでも災害が起こる可能性があります。

● 色が塗られていなくても、周り比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、須賀川市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

警戒レベル3 (高齢者等避難) が発令されたら、安全な場所に住んでいる親戚や知人宅に避難しましょう (日ごろから相談しておきましょう)。

警戒レベル4 (高齢者等避難) が発令されたら、須賀川市の指定一般避難所、指定福祉避難所、指定緊急避難場所に避難しましょう。

避難指示 (避難指示) が発令されたら、安全な場所に住んでいる親戚や知人宅に避難しましょう (日ごろから相談しておきましょう)。

警戒レベル4 (避難指示) が発令されたら、須賀川市からの指定一般避難所、指定福祉避難所、指定緊急避難場所に避難しましょう。